



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日 東

上場会社名 リズム時計工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠間 達雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 奥田 伸一郎 (TEL) 048-643-7213
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 16,694 | △2.3 | 192 | △54.8 | 319 | △49.7 | 153 | △60.4 |
| 27年3月期第2四半期 | 17,084 | 13.4 | 424 | 102.1 | 635 | 33.1 | 388 | 31.1 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △137百万円(△117.3%) 27年3月期第2四半期 792百万円(△37.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 1.46 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 3.36 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 48,580 | 33,988 | 70.0 |
| 27年3月期 | 47,222 | 36,512 | 77.3 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 33,988百万円 27年3月期 36,512百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | | | |
| 28年3月期(予想) | | | — | 3.00 | 3.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 35,100 | △6.1 | 700 | △22.0 | 900 | △31.8 | 650 | △38.8 | 6.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年3月期2Q | 117,178,939株 | 27年3月期 | 117,178,939株 |
| 28年3月期2Q | 19,021,964株 | 27年3月期 | 6,591,524株 |
| 28年3月期2Q | 105,360,329株 | 27年3月期2Q | 115,605,975株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)
 決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 会計方針の変更 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日)の世界経済は、米国では景気の回復が続き、ユーロ圏でも景気回復の兆しが見えてきましたが、中国経済の減速、アジア地域などでも景気減速懸念が見られました。わが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和策などを背景に、円安による輸出関連企業の収益の押し上げや雇用環境の改善が見られたものの、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下当社グループは、収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んだ結果、業績は次の通りであります。

(単位：百万円)

| 売上高 | 平成27年3月期 第2四半期連結累計期間 | 平成28年3月期 第2四半期連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|----------|-------------------------|-------------------------|------|--------|
| 時計事業 | 6,137 | 6,133 | △3 | △0.1% |
| 電子事業 | 3,711 | 3,766 | 55 | 1.5% |
| プレジジョン事業 | 2,540 | 2,619 | 79 | 3.1% |
| 接続端子事業 | 4,332 | 4,007 | △324 | △7.5% |
| その他 | 363 | 166 | △196 | △54.1% |
| 計 | 17,084 | 16,694 | △389 | △2.3% |

(単位：百万円)

| 営業利益 | 平成27年3月期 第2四半期連結累計期間 | 平成28年3月期 第2四半期連結累計期間 | 増減額 | 増減率 |
|----------|-------------------------|-------------------------|------|--------|
| 時計事業 | 29 | 144 | 115 | 396.0% |
| 電子事業 | 138 | △147 | △285 | — |
| プレジジョン事業 | △19 | 56 | 75 | — |
| 接続端子事業 | 515 | 226 | △288 | △56.1% |
| その他 | 30 | 33 | 2 | 7.4% |
| 調整額 | △269 | △120 | 148 | — |
| 計 | 424 | 192 | △232 | △54.8% |

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① 時計事業

国内販売におきましては、中高級品の販売を強化したことにより、クロックの売上が増加し、国内販売はわずかながら売上高は増加しました。海外販売は、世界的な景気減速のなかでしたが、全体としては横ばいとなりました。

これらの結果、セグメント全体の売上高は、61億33百万円となり前年同期比0.1%減収となりました。また、セグメント全体の営業利益は、円安により海外生産コストは上昇しておりますが、原価率の改善や継続的な経費削減効果により1億44百万円となり、前年同期に比べ1億15百万円の増益となりました。

② 電子事業

電子事業におきましては、車載・映像機器分野におきまして受注減少により減収となったものの、海外での受注が活況に推移したことから、セグメント全体の売上高は37億66百万円となり1.5%増収となりました。

セグメントの営業損益は、不採算商品のリストラを実施したことから1億47百万円の損失(前年同期は1億38百万円の営業利益)となりました。

③ プレシジョン事業

プレシジョン事業におきましては、国内においては、新領域の開拓を進めることにより光学部品に依存する売上体質からの改善を図って参りました。また、海外でのユニット組立事業が好調に推移し、セグメント全体の売上高は26億19百万円となり3.1%増収となりました。

セグメントの営業利益は、原価改善により56百万円（前年同期は19百万円の営業損失）となりました。

④ 接続端子事業

接続端子事業におきましては、国内では、太陽光発電、家電分野で受注に厳しさが見られ、自動車や電動アシスト自転車分野は受注が堅調に推移しました。海外では、インドネシアやベトナムでの二輪向け部品が需要減少による需要減少による受注減により減収となり、セグメント全体の売上高は40億7百万円となり7.5%減収となりました。

セグメントの営業利益は、受注減少により2億26百万円となり、前年同期に比べ2億88百万円の減益となりました。

⑤ その他

物流事業等その他事業につきましては、前年の子会社株式の売却に伴う影響もあり、セグメント全体の売上高は1億66百万円となり54.1%減収となりました。

セグメントの営業利益は、33百万円となり2百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は485億80百万円となり、前連結会計年度末472億22百万円に比べて13億58百万円増加しました。流動資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ21億17百万円増加しました。固定資産は投資その他の資産の減少などにより、前連結会計年度に比べ7億59百万円減少しました。

(負債)

負債合計145億92百万円となり、前連結会計年度末107億9百万円に比べ38億82百万円増加しました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億47百万円減少しました。固定負債は前連結会計年度末に比べ47億30百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は339億88百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、自己株式の増加などにより、25億24百万円減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ、13億80百万円増加し、86億80百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と前年同期と比べた主な増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が3億49百万円となったことなどにより、8億83百万円の資金の減少(前年同期は3億76百万円の資金の増加)となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、3億61百万円の資金の減少(前年同期に比べ6億73百万円の支出減)となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入や自己株式取得などによる支出により、26億9百万円の資金の増加(前年同期は6億49百万円の資金の減少)となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年8月7日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、
第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、
四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、
連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,782 | 9,162 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,849 | 6,530 |
| 電子記録債権 | 950 | 1,268 |
| たな卸資産 | 8,392 | 8,960 |
| その他 | 720 | 1,892 |
| 貸倒引当金 | △2 | △1 |
| 流動資産合計 | 25,694 | 27,812 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 8,776 | 8,733 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,505 | 2,333 |
| その他 | 1,245 | 1,068 |
| 無形固定資産合計 | 3,751 | 3,402 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,985 | 6,521 |
| その他 | 2,136 | 2,229 |
| 貸倒引当金 | △122 | △119 |
| 投資その他の資産合計 | 9,000 | 8,631 |
| 固定資産合計 | 21,527 | 20,768 |
| 資産合計 | 47,222 | 48,580 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,617 | 4,124 |
| 短期借入金 | 120 | 289 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 600 | 600 |
| 未払法人税等 | 311 | 111 |
| 賞与引当金 | 181 | 178 |
| 役員賞与引当金 | 22 | — |
| その他 | 1,390 | 1,092 |
| 流動負債合計 | 7,244 | 6,396 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 5,000 |
| 長期借入金 | 1,400 | 1,228 |
| 退職給付に係る負債 | 765 | 811 |
| その他 | 1,299 | 1,155 |
| 固定負債合計 | 3,464 | 8,195 |
| 負債合計 | 10,709 | 14,592 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,372 | 12,372 |
| 資本剰余金 | 13,681 | 13,681 |
| 利益剰余金 | 6,423 | 6,247 |
| 自己株式 | △1,065 | △3,123 |
| 株主資本合計 | 31,412 | 29,178 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,586 | 2,293 |
| 為替換算調整勘定 | 2,637 | 2,667 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △123 | △151 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,100 | 4,809 |
| 純資産合計 | 36,512 | 33,988 |
| 負債純資産合計 | 47,222 | 48,580 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 17,084 | 16,694 |
| 売上原価 | 12,776 | 12,700 |
| 売上総利益 | 4,307 | 3,994 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,882 | 3,801 |
| 営業利益 | 424 | 192 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 18 | 6 |
| 受取配当金 | 90 | 97 |
| 受取賃貸料 | 111 | 108 |
| 信託収入 | 92 | 92 |
| 為替差益 | 2 | — |
| その他 | 44 | 29 |
| 営業外収益合計 | 361 | 334 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9 | 16 |
| 社債発行費 | — | 60 |
| 出向費用 | 19 | 23 |
| 賃貸費用 | 49 | 55 |
| 信託費用 | 29 | 28 |
| 為替差損 | — | 4 |
| その他 | 42 | 18 |
| 営業外費用合計 | 150 | 207 |
| 経常利益 | 635 | 319 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 46 |
| 投資有価証券売却益 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 47 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 6 | 14 |
| 投資有価証券売却損 | — | 0 |
| 投資有価証券評価損 | — | 2 |
| 特別損失合計 | 6 | 17 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 630 | 349 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 246 | 158 |
| 法人税等調整額 | △4 | 36 |
| 法人税等合計 | 242 | 195 |
| 四半期純利益 | 388 | 153 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 388 | 153 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 388 | 153 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 288 | △293 |
| 為替換算調整勘定 | 83 | 30 |
| 退職給付に係る調整額 | 32 | △27 |
| その他の包括利益合計 | 404 | △290 |
| 四半期包括利益 | 792 | △137 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 792 | △137 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 630 | 349 |
| 減価償却費 | 588 | 645 |
| のれん償却額 | 155 | 168 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △9 | △3 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 60 | 27 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | 4 | △3 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △14 | △3 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △18 | △22 |
| 受取利息及び受取配当金 | △109 | △104 |
| 支払利息 | 9 | 16 |
| 為替差損益(△は益) | 16 | △8 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 6 | 14 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △0 | △46 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 915 | 1,223 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △989 | △549 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △723 | △501 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △0 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 2 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 10 | △201 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 155 | △1,404 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △74 | △184 |
| 小計 | 612 | △585 |
| 利息及び配当金の受取額 | 111 | 106 |
| 利息の支払額 | △8 | △16 |
| 法人税等の支払額 | △337 | △389 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 376 | △883 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額(△は増加) | 54 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △789 | △506 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 105 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △315 | △13 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4 | △1 |
| 投資有価証券の売却等による収入 | 17 | 53 |
| 貸付金の回収による収入 | 1 | 1 |
| その他 | △0 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,035 | △361 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | — | 169 |
| 長期借入れによる収入 | — | 128 |
| 長期借入金の返済による支出 | △300 | △300 |
| 社債の発行による収入 | — | 5,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △2 | △2,057 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | — |
| 配当金の支払額 | △346 | △331 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △0 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △649 | 2,609 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 127 | 16 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,180 | 1,380 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,427 | 7,299 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,246 | 8,680 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 |
|-------------------|---------|-------|----------|--------|--------|-----|--------|
| | 時計事業 | 電子事業 | プレジジョン事業 | 接続端子事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,137 | 3,711 | 2,540 | 4,332 | 16,721 | 363 | 17,084 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 18 | 1 | 53 | — | 73 | 437 | 510 |
| 計 | 6,155 | 3,712 | 2,593 | 4,332 | 16,794 | 800 | 17,595 |
| セグメント利益又は損失(△) | 29 | 138 | △19 | 515 | 663 | 30 | 694 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 663 |
| 「その他」の区分の利益 | 30 |
| セグメント間取引消去 | △5 |
| 全社費用(注) | △176 |
| 棚卸資産の調整額 | △87 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 424 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

なお、当該変更による各報告セグメント利益又は損失に及ぼす影響は軽微であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------------|------------|--------|------------|--------|
| | 時計事業 | 電子事業 | プレジジョン 事業 | 接続端子 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,133 | 3,766 | 2,619 | 4,007 | 16,528 | 166 | 16,694 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 32 | 2 | 63 | 1 | 99 | 423 | 523 |
| 計 | 6,166 | 3,769 | 2,682 | 4,008 | 16,628 | 590 | 17,218 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 144 | △147 | 56 | 226 | 279 | 33 | 312 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 279 |
| 「その他」の区分の利益 | 33 |
| セグメント間取引消去 | 21 |
| 全社費用(注) | △146 |
| 棚卸資産の調整額 | 4 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 192 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。